



50周年プロジェクト

オリエントの技術をいかしたプロジェクトや、記憶に残るプロジェクトを実施しました。

2017.8.21~9.15

千々石ミゲル発掘調査支援プロジェクト

棄教していなかった!?

定説を覆す

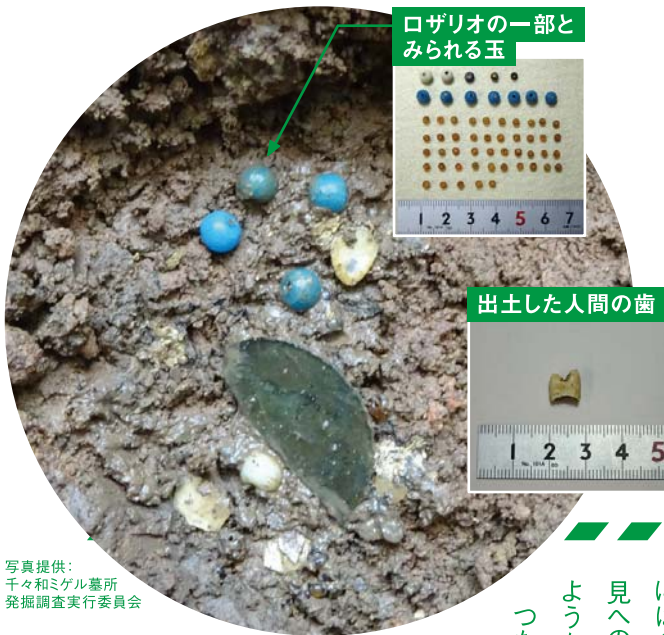
発見に関わる!

社員二名を発掘現場へ派遣。

十六世紀にキリシタン大名の名代として欧州へ派遣された「天正遣欧使節」四名のうちの一人、千々石ミゲルの墓とされる墓碑（長崎県諫早市）の発掘調査。オリエントでは、五〇周年記念プロジェクトの一環として、完全ボランティアで二名の社員を現地に派遣しました。



千々石ミゲルの子孫・浅田昌彦氏(左)も見守る中、発掘調査は進んだ。



ロザリオの一部とみられる玉

出土した人間の歯



作業をするオリエント社員。

歴史的発見に関わる!

十九日間に渡る発掘で、ミゲルのものと思われる歯、ロザリオ(キリスト教の祈禱で使われる聖具)の一部とみられる玉が出土。ミゲルは、天正遣欧使節の中でただ一人、棄教したとされてきましたが、今回の発見で信仰を捨てていない「潜伏キリシタン」だった可能性が高まりました。これらの遺品は、オリエント社員が発掘中に発見しました。

完掘した九月八日に行われた記者発表には多くのメディアが集まり、歴史的発見への注目度の高さが伺えました。このような今回の支援が長崎へのご恩返しにつながることを期待しています。



生田 智志



樋口 洋行

写真提供:
千々石ミゲル墓所
発掘調査実行委員会

発掘されたロザリオの一部。
「(棄教したという)説を覆す遺品の出土に関わることができ、正直鳥肌ものだった。」と、オリエント社員。



記者発表の様子。[2017.9.8]



50th Project

世界文化遺産候補「長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産」は、潜伏禁教
の時代を物語る十二の資産で構成され
ています。
そこで、当社の技術を生かしたPRがで
きないかを検討し、点在する各遺産の
マップを制作しました。国土地理院など
の地図を元に、原城跡や大浦天主堂な
ど全十種類の地図を作成。下準備期間
を含め、三ヶ月かけて完成させました。

潜伏キリシタン 関連遺産PR用

ベースマップ寄贈

2017.4.11~7.31



長崎、天草に点在する遺産をマップにまとめました。



出島表門橋で使用された同じ木材を譲
り受け、ベンチを設計・製作しています。
今後、出島対岸の公園への寄贈を検討
しています。

ベンチ製作



贈呈式の様子
[2017.8.10 文化観光国際部長室にて]

「どこにあるのか」「なぜそこにあるのか」
を正しく理解し、その歴史的価値を
PRする活動に役立てていただきたいと
思います。



看板の表面は普段見れない橋の内側。

二〇一七年、国指定史跡「出島和蘭商館
跡」に新たな出島表門橋が架けられ、鎖
国時代の日本と西洋とを結ぶ唯一の窓口
だった橋が、約百三十年ぶりによみがえり
ました。
出島表門橋の製作にあたっては、様々な
観点から検証を行うため、長さ約六メー
トルのモックアップ(原寸大の模型)が製
作されました。
オリエント新社屋前に八月に設置された
この看板は、そのモックアップの一部を譲
り受け、出島表門橋の設計に携わったこ
とを記念して製作しました。

新社屋前にサイン設置 出島表門橋のモックアップの 一部からできています！